

## (6) ジャパンパラ競技大会

### ① 夏季競技大会

平成元(1989)年、国際パラリンピック委員会(IPC)が設立され、パラリンピックや競技別世界選手権大会がエリートスポーツ大会への道を歩みはじめるなど、世界の身体障害者の競技スポーツはめまぐるしい動きをみせていた。

一方、わが国では、一生に一度しか参加できない全国身体障害者スポーツ大会の他、全国組織として活動する12の競技団体が自主運営する競技大会や、各種団体等の補助を受けて開催する競技大会などが行われていたが、世界の動向に対応したものではなかった。

このような状況下、平成2(1990)年6月、社会福祉・医療事業団法の一部改正により同事業団に長寿社会福祉基金が設けられ、その運用益により財源を生み出し在宅福祉事業が行われることが決定された。

これにより、財団法人日本身体障害者スポーツ協会では、「身体障害者スポーツ振興事業」として新たに事業を行うこととなった。

そこで、次回行われるバルセロナパラリンピックから標準記録の設定が厳しくなると予想される陸上競技と水

泳について、競技団体と共催して平成3(1991)年度より開催することを決定した。

なお、この大会をパラリンピックや世界選手権大会をめざすトップレベルの選手のための大会と位置づけ、さらに標準記録の設定をはじめ、国際組織のクラス分けを導入した。また、競技規則についても国際組織のものを適用した。

その後、平成10(1998)年度よりアーチェリー競技大会が加わった(オリンピックラウンドを採用)。

### ② 冬季競技大会

第7回パラリンピック冬季競技大会が平成10(1998)年3月に長野県下で開催されることが決定された。

そこで、財団法人日本身体障害者スポーツ協会では、当時、パラリンピック実施競技の中で唯一わが国で行われていたアルペンスキーのさらなる競技力向上と、クロスカンリースキー、アイススレッジスピードレース、アイススレッジホッケーを行う選手の発掘・育成・強化をすることを決定した。

そして、平成5(1993)年度よりスキー競技大会を、その翌年度よりアイススレッジ競技大会の開催をはじめた。

### 陸上競技大会 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H3	1991	9月28日	江戸川区陸上競技場	243	197	46	・海外選手を招待(韓国7名、タイ15名)
H4	1992	10月3日～4日	江戸川区陸上競技場	169	132	37	
H5	1993	10月2日～3日	江戸川区陸上競技場	232	193	39	
H6	1994	10月1日～2日	江戸川区陸上競技場	242	193	49	
H7	1995	9月30日～10月1日	江戸川区陸上競技場	256	208	48	
H8	1996	9月28日～29日	江戸川区陸上競技場	253	204	49	
H9	1997	10月4日～5日	江戸川区陸上競技場	242	198	44	
H10	1998	10月4日	江戸川区陸上競技場	267	215	52	
H11	1999	9月25日	江戸川区陸上競技場	231	181	50	・天皇陛下、皇后陛下ご観戦を賜る。 ・天皇陛下御即位10年記念大会として開催。
H12	2000	5月28日	大阪市長居第2競技場	165	119	46	
H13	2001	9月16日	高知県立春野総合運動公園	106	79	27	
H14	2002	9月7日～8日	岩沼市陸上競技場	121	99	22	
H15	2003	9月20日～21日	町田市陸上競技場	207	162	45	・この年からIPC公認大会として実施 ・世界新記録樹立1
H16	2004	5月23日	大阪市長居第1競技場	170	135	35	・世界新記録樹立4
H17	2005	10月22日～23日	大阪市長居第1競技場	151	111	40	
H18	2006	9月30日～10月1日	岡山県陸上競技場	320	247	73	・世界新記録樹立4
H19	2007	10月20日～21日	大阪市長居第1競技場	275	210	65	
H20	2008	6月22日	大阪市長居第1競技場	221	174	47	
H21	2009	9月22日	大阪市長居第1競技場	227	170	57	・天皇陛下御即位20年記念大会
H22	2010	7月31日～8月1日	仙台市陸上競技場	179	134	45	
H23	2011	9月24日～25日	大分市営陸上競技場	177	134	43	

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H24	2012	6月2日～3日	大阪市長居第1競技場	296	218	78	

### 水泳競技大会 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H3	1991	11月24日	東京体育館室内プール	106	77	29	
H4	1992	11月29日	東京体育館室内プール	93	73	20	
H5	1993	11月28日	東京辰巳国際水泳場	96	63	33	
H6	1994	11月20日	東京辰巳国際水泳場	101	66	35	
H7	1995	11月26日	東京辰巳国際水泳場	119	79	40	
H8	1996	11月17日	東京辰巳国際水泳場	103	37	66	
H9	1997	11月16日	東京辰巳国際水泳場	113	76	37	
H10	1998	11月15日	なみはやドーム	129	94	35	
H11	1999	8月22日	なみはやドーム	146	101	45	
H12	2000	8月20日	なみはやドーム	141	99	42	
H13	2001	8月19日	なみはやドーム	161	113	48	
H14	2002	8月18日	なみはやドーム	171	113	58	
H15	2003	8月16日～17日	なみはやドーム	191	131	60	・この年からIPC公認大会として実施 ・IPC水泳公認クラス分け委員を招きIPCクラス分け研修を実施。・世界新記録樹立1
H16	2004	8月15日	なみはやドーム	165	112	53	
H17	2005	8月14日	なみはやドーム	148	100	48	
H18	2006	7月16日～17日	なみはやドーム	172	119	53	・IPC水泳公認クラス分け委員の招聘 ・世界新記録樹立1・4か国(メキシコ、マレーシア、韓国、香港)15名の海外選手が参加
H19	2007	8月18日～19日	なみはやドーム	187	127	60	
H20	2008	7月20日	なみはやドーム	163	114	49	
H21	2009	7月20日	なみはやドーム	181	122	59	・天皇陛下御即位20年記念大会
H22	2010	7月18日	なみはやドーム	197	134	63	
H23	2011	8月13日～14日	なみはやドーム	176	119	57	
H24	2012	7月15日～16日	なみはやドーム	221	151	70	

### アーチェリー競技大会 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H10	1998	11月21日～22日	埼玉県障害者交流センター	50	44	6	
H11	1999	11月20日～21日	埼玉県障害者交流センター	46	39	7	
H12	2000	5月13日～14日	埼玉県障害者交流センター	41	34	7	・シドニーパラリンピック日本代表選手選考大会として実施
H13	2001	5月12日～13日	埼玉県障害者交流センター	50	44	6	
H14	2002	5月11日～12日	埼玉県障害者交流センター	43	36	7	・この年より埼玉県内高等学校との団体対抗戦を実施
H15	2003	5月10日～11日	埼玉県障害者交流センター	46	32	14	
H16	2004	5月8日～9日	埼玉県障害者交流センター	49	37	12	
H17	2005	7月23日～24日	埼玉県障害者交流センター	47	35	12	
H18	2006	7月15日～16日	埼玉県障害者交流センター	65	46	19	
H19	2007	7月21日～22日	埼玉県障害者交流センター	81	62	19	
H20	2008	5月10日～11日	埼玉県障害者交流センター	68	49	19	

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H21	2009	10月3日～4日	埼玉県障害者交流センター	57	43	14	・天皇陛下御即位20年記念大会
H22	2010	10月9日～10日	埼玉県障害者交流センター	58	43	15	
H23	2011	10月8日～9日	埼玉県障害者交流センター	43	32	11	
H24	2012	10月6日～7日	埼玉県障害者交流センター	40	33	7	

#### アルペンスキー競技 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H6	1994	2月18日～20日	ブランシュたかやまスキー場	130	109	21	・クロスカントリースキーと共に開催
H7	1995	3月3日～5日	ブランシュたかやまスキー場	81	71	10	・クロスカントリースキーと共に開催
H8	1996	3月8日～10日	ブランシュたかやまスキー場	69	53	16	・クロスカントリースキーと共に開催
H9	1997	3月1日～3日	ブランシュたかやまスキー場	130	111	19	・クロスカントリースキーと共に開催 ・12名の海外選手(韓国7名、ニュージーランド5名)受け入れ
H10	1998	-	-	-	-	-	・長野冬季パラリンピックのため実施せず
H11	1999	2月19日～21日	ブランシュたかやまスキー場	88	74	14	・クロスカントリースキーと共に開催
H12	2000	3月10日～12日	ARAI M&S PARK	108	93	15	・クロスカントリースキーと共に開催
H13	2001	3月9日～11日	ARAI M&S PARK	102	89	13	・クロスカントリースキーと共に開催
H14	2002	2月15日～17日	ARAI M&S PARK	106	93	13	・クロスカントリースキーと共に開催
H15	2003	3月7日～9日	安比高原スキー場	88	79	9	・この年より単独開催。
H16	2004	2月22日～24日	京王赤倉チャンピオンスキー場	76	69	7	
H17	2005	3月11日～13日	京王赤倉チャンピオンスキー場	70	62	8	
H18	2006	2月2日～5日	八方尾根スキー場	67	59	8	・この年からFIS公認大会として実施
H19	2007	2月1日～4日	八方尾根スキー場	62	53	9	
H20	2008	1月29日～30日	八方尾根スキー場	46	39	7	
H21	2009	3月20日～22日	八方尾根スキー場	41	37	4	・天皇陛下御即位20年記念大会
H22	2010	2月9日～10日	八方尾根スキー場	40	36	4	
H23	2011	3月20日～22日	八方尾根スキー場	-	-	-	・東日本大震災のため中止
H24	2012	3月22日～26日	八方尾根スキー場	51	43	8	
H25	2013	3月21日～24日	八方尾根スキー場				

#### クロスカントリースキー競技 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H6	1994	2月18日～20日	ブランシュたかやまスキー場	16	13	3	・アルペンスキーと共に開催
H7	1995	3月3日～5日	ブランシュたかやまスキー場	12	11	1	・アルペンスキーと共に開催
H8	1996	3月8日～10日	ブランシュたかやまスキー場	-	-	-	・アルペンスキーと共に開催
H9	1997	3月1日～3日	ブランシュたかやまスキー場	30	20	10	・アルペンスキーと共に開催
H10	1998	-	-	-	-	-	・長野冬季パラリンピックのため実施せず
H11	1999	2月19日～21日	ブランシュたかやまスキー場	30	22	8	・アルペンスキーと共に開催
H12	2000	3月10日～12日	ARAI M&S PARK	39	26	13	・アルペンスキーと共に開催
H13	2001	3月9日～11日	ARAI M&S PARK	31	24	7	・アルペンスキーと共に開催
H14	2002	2月15日～17日	ARAI M&S PARK	43	39	4	・アルペンスキーと共に開催
H15	2003	3月7日～9日	野辺地かまど温泉スキー場	46	39	7	・この年より単独開催。
H16	2004	2月21日～22日	池の平温泉スキー場	59	42	17	

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H17	2005	3月11日～13日	池の平温泉スキー場	33	24	9	
H18	2006	2月17日～19日	白馬村スノーハーブ	31	24	7	
H19	2007	3月2日～4日	白馬村スノーハーブ	34	28	6	
H20	2008	2月22日～24日	白馬村スノーハーブ	29	25	4	
H21	2009	2月20日～22日	白馬村スノーハーブ 柵池高原スキー場 クロスカントリーコース	26	21	5	・天皇陛下御即位20年記念大会 ・雪不足のため柵池クロスカントリーコースで競技を実施
H22	2010	1月8日～10日	富沢クロスカントリーコース	40	35	5	
H23	2011	2月4日	富沢クロスカントリーコース	37	30	7	・韓国より選手参加
H24	2012	2月17日～19日	白馬村スノーハーブ	31	27	4	
H25	2013	2月8日～10日	白馬村スノーハーブ				

#### アイススレッジスピードレース競技 年表

年	西暦	期日	会場	参加選手数			特記事項
				計	男子	女子	
H7	1995	1月21日～22日	長野スケートセンター	25	21	4	・アイススレッジホッケー競技と同時開催
H8	1996	3月16日～17日	長野スケートセンター	12	7	5	・アイススレッジホッケー競技と同時開催
H9	1997	3月20日～23日	ビッグハット	16	11	5	・アイススレッジホッケー競技と同時開催 ・国際アイススレッジ競技会としても実施(参加国：日本、ノルウェー)
H10	1998	—	—				・長野冬季パラリンピックのため実施せず
H11	1999	2月26日	ホワイトリング	15	9	6	・アイススレッジホッケー競技と同時開催

#### アイススレッジホッケー競技 年表

年	西暦	期日	会場	チーム数	特記事項
H7	1995	1月21日～22日	長野スケートセンター	2	・ノルウェーより講師招聘
H8	1996	3月16日～17日	長野スケートセンター	3	
H9	1997	3月20日～23日	ビッグハット	3	・国際アイススレッジ競技会としても実施(参加国：日本、スウェーデン、ノルウェー)
H10	1998	—	—	—	・長野冬季パラリンピックのため実施せず
H11	1999	2月26日	ホワイトリング	2	・大会に引き続き、国際アイススレッジホッケー大会を実施(参加国：カナダ、ノルウェー、スウェーデン、日本)
H12	2000	2月12～13日	やまびこスケートの森	3	・ショートトラック種目を実施(28選手が出場)
H13	2001	1月26日～28日	やまびこスケートの森	4	
H13	2001	12月15日～16日	ビッグハット	3	
H15	2003	3月7日～9日	新井田アイスアリーナ	5	・韓国代表チーム参加
H16	2004	2月11日～12日	やまびこスケートの森	3	
H17	2005	2月13日	やまびこスケートの森	4	・韓国代表チーム参加
H17	2005	12月9日～10日	やまびこスケートの森	3	
H19	2007	1月13日～14日	大雪アイスアリーナ	3	・初の北海道開催
H20	2008	1月22日～26日	大雪アイスアリーナ	4	・カナダ、ノルウェー、アメリカ参加
H21	2009	1月13日～16日	ビッグハット	4	・天皇陛下御即位20年記念大会 ・カナダ、ノルウェー、アメリカ参加
H22	2010	1月19日～24日	ビッグハット	4	・アメリカ、ノルウェー、チェコ参加
H23	2011	3月10日～14日	ビッグハット	4	・アメリカ、ノルウェー、カナダ参加 ・東日本大震災により総当たり戦に変更